

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 1月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら 北本教室

保護者等数(児童数) 5 回収数 5 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	0	0	1	広くて動きやすいと感じた。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	4	0	0	1	少数の子どもに対して、職員の数が多く安心している。	お子様の人数に応じて配置する職員の人数を決めている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	0	0	2	移動もしやすく、分かりやすい作りだと思う。	1日の予定の貼りだしや、ロッカーに写真を貼るなどして対応している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0	0	1	子どもが動きやすく、安全な空間だと思う。	毎日消毒や清掃をするよう徹底している。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4	1	0	0	しっかりと話を聞いてもらい、考えてもらえるため助かっている。	保護者様とよく相談したうえで、支援計画を作成している。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	1	0	0	毎日連絡帳で報告してもらっている。	お子様の課題や状態に合わせて支援目標や支援内容を決めている。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	0	0	子どもに合ったやり方をしてもらっている。	
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	0	0	0	子どもが嫌にならないよう、工夫されている。	同じプログラムが連続することのないようにしている。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	0	1	3	児童館や公園に行ってくれている。	
保護者 への 説明 等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	0	0	0	初回の時にしっかり説明してもらった。	利用開始時に丁寧に説明を行うことを心掛けている。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4	0	0	1	モニタリングの他に相談もできるため、分からないところは聞ける。	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	1	0	1	3	やったことがないため分からない。	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	0	0	0	毎日の報告と連絡帳でしっかり理解できている。	連絡帳でのやり取りの他、送迎時に直接お伝えするようにしている。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	0	0	0	モニタリングが行われている。	半年に1回、モニタリングを行っている。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	2	3	0		保護者様向けの研修会や、情報交換会を実施している。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5	0	0	0	相談したことはしっかり行ってもらっている。	半年に1回のモニタリングの他、保護者様からの希望があった際にはその都度面談を行っている。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	0	0	0	困ったことはすぐに相談できる。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	0	0	0	インスタグラム等でその日の予定やイベントの内容が見られる。	毎月保護者様向けのお便りを発行している。インスタグラムも活用している。
非常 時 等 の 対 応	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	4	1	0	0	一回心配な時もあったが、その後はしっかり注意されている。	個人情報の取り扱いには細心の注意を払う。
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3	1	0	1		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	0	0	1	避難避難などが行われている。	プログラムの中に避難訓練を組み込んでいる。
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	5	0	0	0	毎日ワクワクして待っている。	
	23	事業所の支援に満足しているか	5	0	0	0	しっかり見てもらっており、成長も分かるため、親としても楽しみである。	

90 6 5 14

78%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 1月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 北本教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0		
	2 職員の配置数は適切であるか	10	0	お子様の人数に応じて配置する職員の人数を決めている。	今後も適切な人数が確保できるようにしていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	1	ロッカーに写真や目印を貼っている。	今後も目で見えてわかるような掲示の仕方を心掛ける。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	0	毎日清掃や消毒をするように徹底している。	今後も清掃や消毒を徹底していく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	0	職員同士で振り返りの時間を作っている。	今後も目標設定と振り返りのサイクルを持続させていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0	事業所の評価をもとに、今後の運営改善について検討している。	今後も保護者様向けのアンケートを実施し、業務改善を行っていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	0		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	0	虐待防止などの研修を定期的実施している。	今後も定期的に研修を実施していく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	0	お子様の様子を保護者様と共有し、分析した上で支援計画を作成している。	半年に1回のモニタリングにて、現在のお子様の課題について話し合い、適切な支援計画が立てられるようにしていく。
	11 子どもの適応行動の状況を因るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	0		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	0		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	0	個別支援計画に沿った支援を心がけている。	今後も個別支援計画の内容を基にした支援を心掛けていく。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	10	0	良い支援が出来るように、職員で話し合いを行っている。	モニタリングの内容を職員で共有し、具体的なプログラムを立てるようにしていく。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0	季節や行事に合わせたプログラムを行っている。	今後も様々なプログラムを計画していく。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10	0		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	0	朝礼の際にお子様の様子や支援内容を共有している。	今後も朝礼での共有を継続する。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	職員での話し合いの中で、その日の出来事について共有を行っている。	支援終了後に集まるのが難しい場合は、ラインワークスを活用して情報共有を行う。
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	毎回記録をとり、共有を行っている。	今後も支援中に記録をとり、内容の改善に努めていく。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	0	モニタリングを通して計画の見直しを行っている。	今後も半年に1回のモニタリングを継続していく。	
関係機関や保護者	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	2		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	0	相談支援事業所等と連携を行っている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	2	現在該当する児童がいない状況である。	現在該当する児童がいない状況である。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	2	現在該当する児童がいない状況である。	現在該当する児童がいない状況である。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0		

護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0	お子様を学校に迎えに行く際に、担任の先生と情報交換を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8	0	月に2回程度、児童館で遊べるようにプログラムを作成している。	今後も公共機関を活用したプログラムを検討する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	3		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	送迎の際にお子様の様子についての情報共有を行っている。	今後も情報共有を続け、よりよい支援に繋げていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	9	0	保護者様に意識してもらいたい点などを、職員から伝えるようにしている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0	利用開始時に説明を行っている。	説明は必ず行い、保護者様にご理解をいただく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	相談の内容を共有し、フォローや支援ができるようにしている。	日頃から保護者様とコミュニケーションをとり、相談しやすいような関係を作っていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	0	保護者様向けの研修会や情報交換会を実施している。	今後も保護者様のニーズに合った研修会などを実施していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	職員で検討し、すぐに対応できるようにしている。	保護者様から相談があった際には、すぐに対応できるようにしていく。
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0	毎月保護者様向けのお便りを発行している。	今後も月1回のペースで発行する。Instagramなども活用する。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10	0	個人情報の漏れがないよう、全員で注意している。	今後も個人情報の扱いには細心の注意を払う。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	4		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10	0	定期的の実施している。	今後も継続して実施していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	避難訓練をプログラムに組み込んで実施している。	今後も継続して実施していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	0	利用開始時のアセスメントで確認を行っている。	利用開始時に必ず確認を行っていく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	0	利用開始時にアレルギーの調査を行っている。	利用開始時に必ず確認を行っていく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	ヒヤリハットを作成した際は、どの職員でも確認できるようになっている。	小さなことでも作成し、事例を積み上げていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	定期的に研修を実施している。	今後も継続して研修を実施していく。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	0			